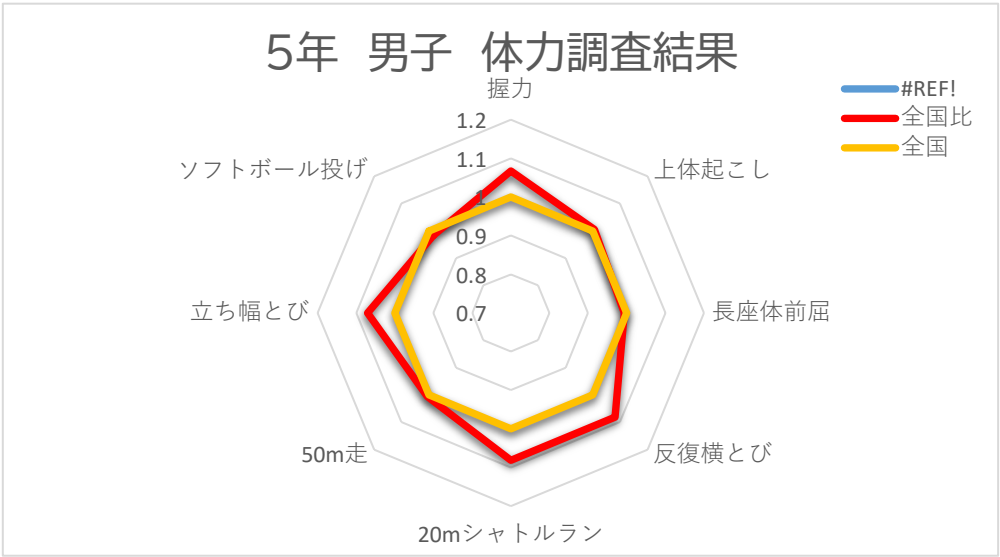
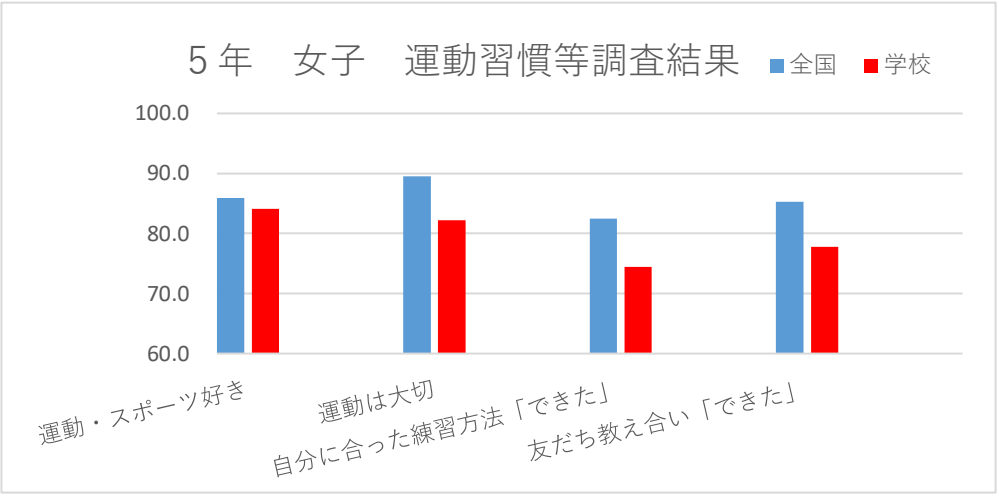
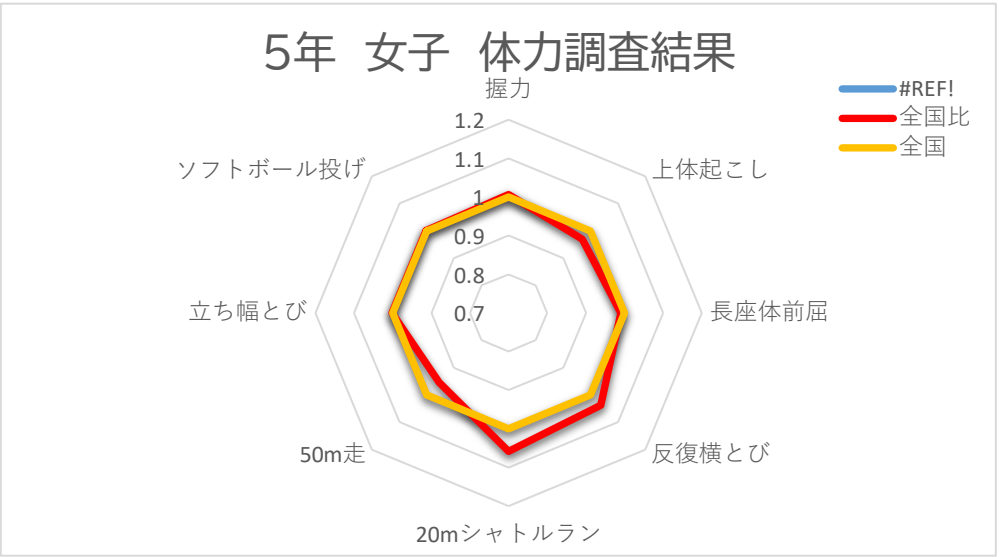
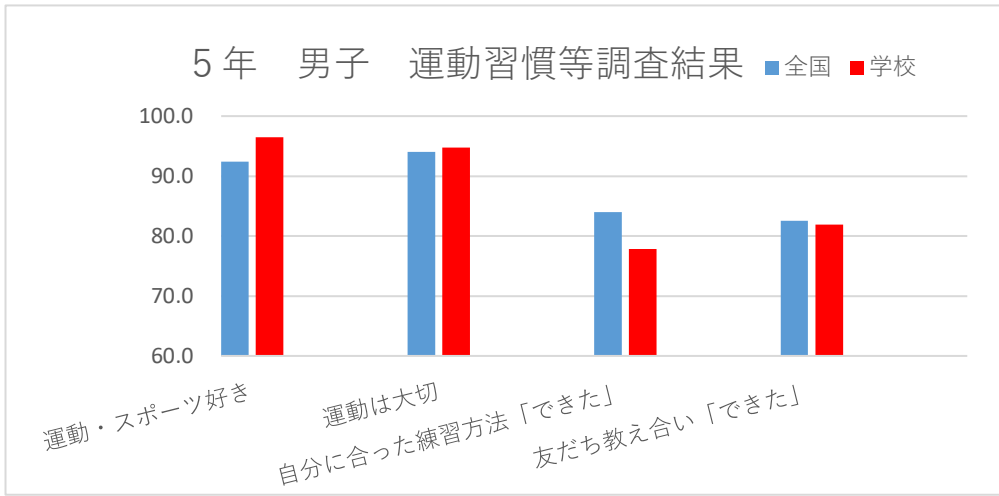


1．現状（令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果より）



※全国の平均値を1として、学校の比を示しています。



※「運動・スポーツが好き」「運動は大切」「体育の授業は楽しい」については、肯定的な回答の割合を示しています。

2．改善プラン

① 現状と課題

長座体前屈・50m走・ソフトボール投げが男女ともに全国を下回っているため、改善策を考えていく。
長引くコロナ禍で運動する機会が減ったのか、ちょっとしたことでの骨折が増えている。朝食を食べている児童は多いが、中身はシリアルだけの児童も多い。塾などの習いごとで帰宅時間が遅くなったりと、生活リズムの乱れも気になる。

② 目標・めざす子ども像

柔軟性と投げる力の向上
規則正しい生活リズム

③ 取組み

取り組み内容	対象学年	取組時期	元気力としての観点			
			体力	保健	生活習慣	食育
体育の授業の帯で「まげまげピン・茨木っ子運動」を行う。	全学年	通年	○			
「まげまげピン・茨木っ子運動」の職員研修。	全学年	4月	○			
フォームロケット投げの授業。	3年	2月	○			
家庭科・保健による「食育」「生活習慣」の授業。	全学年	通年		○	○	○
体育委員による体力アップ週間の実施(なわとび・持久走など)。	全学年	1月	○			